ほのぼの広場

ご存じでしょうが。。。(2)

藤本　茂樹（田村）

人間はよちよち歩きから始めて、自転車に乗り、馬に乗り、自動車に乗り、飛行機と次々と速い乗物を追い求めてきた。飛行機もプロペラ機に速度の限界があることがわかるとまた考えだした。プロペラのないジェット機である。第二次世界大戦の終わりごろに、英国とドイツで発明されて飛んだが、華々しい働きをせずに大戦は終わった。

ジェット機は簡単に言えば、円筒の中に一本軸があり、その軸の前と後ろに羽根車が付いていて回転するようになっている。軸が回転すると前の羽根で空気を吸い込み、羽根車と羽根車の中間に燃料を吹き込み燃やすと空気が膨張する。前からは空気がどんどん入ってくるので後ろに噴出する。後ろの羽根車はこの熱空気で回り、軸を一万数千回転さす。羽根車を通った熱気はすごい勢いで後ろに噴出し、この反動でジェット機は飛ぶことができる。

日章の飛行場を毎日飛び立っているＹＳ１１は、軸を少々長くして前に出して、これにプロペラを付け、後ろからは熱気を噴出して飛んでいる、プロペラ機とジェット機の合いの子である。

ジェット機の速さが音の速さを越すと、速さを表すのに、マッハという単位が使われる。一マッハは、だいたい時速一二〇〇㌔ぐらいである。零戦の約二倍の速さである。マッハ二～三の速さで今の戦闘機や爆撃機は飛んでいる。

ジェット機も、いくらでも速くは飛べない。その理由の一つに、あまり速く飛ぶと機体が空気との摩擦で熱くなり、材質的に限界を生じるということがある。零戦の時代には機体をジュラルミンで作っていたが、今では強さが不足するので、速く飛ぶジェット機はチタンを含む鋼鉄で作られている。

もう一つの限界は、速く飛ぶために強力な馬力のエンジンを作っても、音がひどくてそのために、ガラスが割れたり、コンクリートにひび割れが入るようになるからだめである。

英国とフランスが共同で開発した高速を誇る旅客機コンコルドは、あまりにも音（衝撃波）がひどくて、全速で飛ぶのは海の上だけで、陸の上を飛ぶときは、だいぶスピードを落としている。

『ほのぼの広場』に、あなたの身の回りのほのぼのとした話題や我が家の自慢料理、読書の感想など、お気軽にご投稿ください。

▼投稿先●〒783　南国市大埇甲二三〇一　南国市役所内広報委員会まで。

今年も福祉の定期便

南国市民生委員協議会婦人部（山本美重部長）では、四月十八日、役員四人が特別養護老人ホーム「土佐清風園」を慰問し、「福祉の梅」を贈りました。

昭和四十二年に民生委員制度創設五十周年の記念事業の一つとして「民生委員一人梅一本植樹」を行いましたが、そのときの梅の実が数年前から収穫できるようになりました。この「福祉の梅」は、昨年採れた実を婦人部の手で漬け、一年間保存したもので、ここ数年間毎年送っているものです。

入所者の皆さんは「今年も持って来てくれたかね」と喜んでくれました。

入所者に「福祉の梅」が手渡された

ご家庭で話し合って答えてください。答えはこの広報に出ています。

◪もんだい・火鎮祭相撲大会が○○○中学校相撲場で開かれました。

◪しめきり・6月15日

◪あて先・〒783　南国市大埇甲二三〇一　南国市役所　広報委員会親子クイズ係

◪答えのハガキには必ず、住所、氏名、年齢、職業を書いてください。

◪賞品・正解者のなかから抽選で五人に図書券を進呈。

第193回当選者発表（敬称略）

（応募総数31通）

◪答え・十五

◪当選者

竹田千女（植野）

土居美由紀（里改田）

岡本忠嗣（西山）

岡崎光枝（久礼田）

高木梅子（前浜）